



## 館山市那古地区 石井 俊之さん

定年退職前に農地を相続した。  
相続直後は米と花卉を中心に栽培をおこなっていたが、定年退職後に妻と農地を上手に活用する方法を考えていた中、剪定されていない温州ミカンの木が30本あったこともあり、果樹の栽培に切り替えることを決意。各種柑橘類の植え付けを行い、夏場の果物として「ブルーベリー」を選び、20種類のブルーベリーから土壌に合う品種を選び植え付け、果樹と花卉、野菜に栽培を切り替え、現在に至る。



### ○栽培作物について

春は孟宗竹の子、夏はブルーベリー、秋から冬にかけて柑橘類の栽培を行っています。

### 柑橘類の栽培品種について

柑橘類は約10種類栽培しています。『白羽柑子』旬は11月～12月、小振りで皮が薄く、みかん本来の味を楽しめる品種です。『温州みかん』旬は12月～1月、皮が薄く手で簡単に剥けるのが特徴で、甘味と酸味のバランスが良い日本で最も多く生産されている品種です。『ハッサク』旬は1月～4月、少し硬めの果肉でプリプリ、サクサクとした歯ごたえが特徴で、スッキリとした酸味が味わえます。『スイート・スプリング』旬は11月～1月、温州ミカンとハッサクを交配して作られた品種です。ハッサクの特徴である少し硬めの果肉と温州みかんの甘さが合わさったスッキリとした味わいが特徴の品種です。『はるみ』旬は2月、プチプチとした食感で豊富な甘い果汁が特徴です。『清見』旬は2月～4月、果肉が柔らかく豊富な果汁が特徴の春のみかんの定番です。『川野夏橙』旬は3月～5月、いわゆる「甘夏」と呼ばれる品種のみかんです。酸味が少なく糖度が高いため、生食はもちろんマーマレードやジャムなどの加工品でも人気が高い品種です。その他レモンや花柚子、シークワーサーなどの柑橘類を収穫の際、1個ずつ出来具合を見ながら収穫しています。栽培品種は多いのですが、少しずつ収穫時期「旬」が違うので、夫婦2人で味見をしながら作業しています。

### 【購入可能な直売所】

#### 『道の駅グリーンファーム館山』

営業時間：9:00～17:00  
住所：館山市稲274番地  
TEL：0470-29-7015  
定休日：なし

#### 『晴れパーク』

営業時間：9:00～17:00  
住所：館山市那古559番地  
TEL：0470-20-5227  
定休日：12月29日～1月3日

#### 『房総の蔵 お百姓市場』

営業時間：9:00～17:00  
住所：南房総市富浦町青木103-1  
TEL：0470-33-4432  
定休日：無休

### ○年間収穫量について

みかんは植えてから十分な実が成るまで最低でも5年以上はかかります。早めに苗木の植え替えを行っても、気候の変化や害虫・害獣の影響で中々上手く成長せず、今採れている木も老朽化して生産性が落ちてきているので、年々収穫量が落ちていきます。

### 栽培について

柑橘類はなるべく消毒が少なく済むように栽培を行っています。山の中で栽培している関係でハクビシンやイノシシ、ウサギ等の害獣による被害が多発しており、電気柵の設置など対策を講じながら栽培しています。また、近年は暑さの影響からカメムシによる被害が拡大しています。カメムシの被害を受けた果実は、基本的に生育不良となります。若い果実は、果汁を吸われ変形し、落下することもあります。また、熟しすぎた果実は腐敗します。ブルーベリーは土を選ぶ作物なので、現在は2種類栽培しています。鳥類はブルーベリーを好む傾向にあるので、ネットを張り巡らせて侵入できないよう対策を講じています。

### おすすめの食べ方

シークワーサーや花柚子は小ぶりので、焼き魚や麺類に搾り汁を掛けると良い香りが広がります。鍋用ポン酢として搾り汁とめんつゆを自分の好みの分量で合わせて使用すると、味と香りを最大限楽しめます。

### 現在力を入れていること&今後の展望について

気候の変化やこれに伴う害虫・害獣の被害対策です。今までは農薬の低減に注力していましたが、今後は農薬の低減だけでなく害虫・害獣対策にも力を入れ収穫量を増やしていきたいです。

### 消費者の皆様へ一言

昔ながらの「房州みかん」を作っています。様々な特徴のある柑橘類を直売所などで見かけたら、是非買って食べてみてください。甘味の強い品種、甘味と酸味のバランスが良い品種、果肉が厚い品種、果汁が豊富な品種など食べ比べてみて、自分のお気に入りの品種を見つけてもらえると嬉しいですよ。